

# 事務事業チェックシート

事務事業No 301 事業名 児童館管理運営事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童館費	
	大事業		児童館運営事業	
事項		児童館管理運営事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針	3	子どもが健やかに育つことができる環境づくり

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	児童福祉法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	露野 恵司	435-1329
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
事業概要	児童に健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に児童館を運営する。	児童の健康増進及び健全な遊びの場を提供するために管理運営を行っている。平井児童館、杭の瀬児童館、芦原児童館、善明寺児童館、鳴神児童館、岩橋児童館、木ノ本児童館、本渡児童館の計8箇所。午前8時30分から午後5時15分まで運営しており18歳未満のすべての子どもを対象としている。				
実施内容		平成25年度 児童館管理運営	平成26年度 児童館管理運営	平成27年度 児童館管理運営	平成28年度 児童館管理運営	平成29年度 児童館管理運営

## 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	20,296	20,084	21,272	20,073	31,420	19,352	25,537		25,537	
伸び率 (%)	-	-	4.8%		47.7%		-18.7%		0.0%	
人件費	常勤職員	53,978	13,608	13,608	13,010	13,010	12,567	12,567	12,567	
	非常勤職員	33,625	15,050	15,050	12,399	12,399	11,670	11,670	11,670	
	小計	87,603	28,658	28,658	25,409	25,409	24,237	24,237	24,237	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	170	150	163	162	162	18	18		18	
一般財源(税等)	20,121	19,934	21,109	19,911	31,258	19,334	25,519	0	25,519	0
所要人数	常勤職員	7.28	1.79	1.79	1.75	1.75	1.65	1.65	1.65	
	非常勤職員	16.19	7.14	7.14	6.31	6.31	5.33	5.33	5.33	
主な予算内訳	需用費 13,549千円 役務費 2,440千円 旅費 914千円 委託料 1,363千円									

## 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	運営箇所数	年度目標値			8	8	8	8	8	
		実績値			8	8	8			
	単位	全体目標値	8	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
		年度別達成度								
成果指標	利用児童数	年度目標値			80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	
		実績値			74,585	71,275	61,661			
	単位	人	全体目標値	80,000	全体目標達成度	77.1%	年度別達成度	93.2%	89.1%	77.1%
		年度別達成度								
	利用件数	年度目標値			7,700	8,500	8,500	8,500	8,500	
		実績値			9,399	8,978	8,312			
単位	件	全体目標値	8,500	全体目標達成度	97.8%	年度別達成度	122.1%	105.6%	97.8%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	情操教育の拠点として重要な役割を果たす児童館は、子どもにとって極めて必要な施設と考えられる。
「見直し」 「改善」案	簡易な修繕については、業者に依頼せず当課職員において修理を行い、修繕料の削減に努めている。